

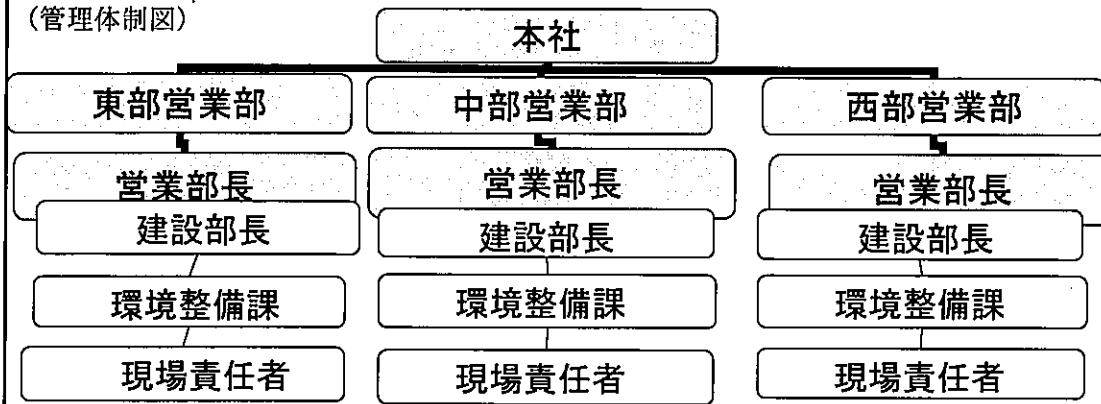
産業廃棄物処理計画書	
2024年 6月 30日	
静岡市長 殿	
提出者	
静岡県浜松市中央区砂山町324-8 第一伊藤ビル7F	
氏名 株式会社パナホーム静岡	
代表取締役 伊藤 卓見	
電話番号 053-457-1191	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社パナホーム静岡
事業場の所在地	静岡県浜松市中央区砂山町324-8
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	103億円
③ 従業員数	156人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	1、新築現場→自社運搬→集積場→分別→中間処理業者に委託→最終処分場にて再生処理（ゼロエミ） 2、新築現場→分別→中間処理業者に委託→最終処分場にて再生処理（ゼロエミ） 3、解体現場→現場で分別解体→収集運搬業者→中間処理業者→最終処分業者にて再生処理（石綿は除く）

(日本工業規格 採列在番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別紙参照	
	排出量	654t	※別紙参照
	1・省梱包、無梱包の実施 2・プレカットなどの現場端材の縮減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※別紙参照	
	排出量	1000 t 以下	
	・上記の更なる減量化、梱包の縮減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類（コンクリート、がれき、アスファルト）ガラスくず、木屑 石膏ボード、廃プラスチック、金属くず、紙くず、繊維くず 等の現場に ての分別後、集積場にて更に細分化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の分別の更なる細分化

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していません		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していません		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していません		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別紙参照	
	全処理委託量	654t	※別紙参照
	優良認定処理業者への処理委託量	614t	※別紙参照 可能な限り委託
	再生利用業者への処理委託量	654t	※別紙参照
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		※別紙参照
	全処理委託量		1000 t 以下
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	800t以上
		再生利用業者への処理 委 託 量	1000 t 以下
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定業者から選定する ・委託先処理業者には、定期的に現地確認を行う		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。

また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の〔集計用シート〕

※別紙

※別紙

減量目標は前年の10%減 もしくは1000t以下

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
各行政庁の所管区域内の作業所(現場)を総括的に管理する支店等の住所	各行政庁の所管区域内の作業所(現場)を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
浜松市中央区砂山町324-8 第一伊瀬ビル7F	株式会社バナホーム静岡	中部建設課	飯塚 智哉	054-288-0211	054-288-6191	

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況																	②+⑤	③+④
コード	名 称	①排出量	②自ら直接	③自己直接埋立	④自ら中間処理した量	⑤④のうち	⑥自ら中間処理	⑦自ら中間処理	⑧自ら中間処理	⑨自ら中間処理した後	⑩直接及び自ら	(⑪= ①-②-③-④+⑤-⑥-⑦=⑧+⑨+⑩+⑪+⑫)					⑪優良認定処理業者	自ら再生利用	自ら埋立処分又は海	
		(t)	再生利用した量	処分又は海洋投入処分した量(t)	(t)	熱回収を行った量	した後の残さ量	により減量した量	した後再生利用した量	自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	自己処理した後の処理委託量 (t)	委 託 先 に よ る 区 分					への処理委託量(t)	を行った量(t)	投入処分を行った量(t)	
												⑫再生利用業者への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑭熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑮その他の中間処理委託量(t)	⑯埋立処分委託量(t)	⑰の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	⑱の量と⑲の量を合計したもの(自動計算)	⑳の量と㉑の量を合計したもの(自動計算)	
												⑫の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑫、⑬除く)	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑭の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑮の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量(⑯～⑱を除く)	⑯の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑰の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	⑱の量と⑲の量を合計したもの(自動計算)	⑳の量と㉑の量を合計したもの(自動計算)	
同右半角	「建設工事等から発生する主な建設系廃棄物」の種類・コード参照	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑤の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑫の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑫、⑬除く)	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑭の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑮の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量(⑯～⑱を除く)	⑯の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑰の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	⑱の量と⑲の量を合計したもの(自動計算)	⑳の量と㉑の量を合計したもの(自動計算)	
	廃プラスチック類																			
	600 廃プラスチック類	71										71	71					64		
	2430 廃プラスチック類(石綿含有)																			
700	紙くず	1									1	1					1			
800	木くず	252									252	252					252			
900	繊維くず	2									2	2					1			
1200	金属くず	2									2	2					2			
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず																			
	1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	68									68	68					61			
	1322 廃石膏ボード	42									42	42					38			
	2420 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有)																			
	がれき類																			
	1500 其他のがれき類	33									33	33					30			
	1501 コンクリート塊	91									91	91					82			
	1502 アスファルト・コンクリート塊	0									0	0					0			
	2440 がれき類(石綿含有)	0									0	0					0			
	建設系混合廃棄物																			
	2010 建設系混合廃棄物(安定型)	1									1	1					1			
	2020 建設系混合廃棄物(管理型)	90									90	90					81			
	2410 建設系混合廃棄物(石綿含有)																			
	蛍光灯	1									1						1			
	合計	654	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	654	653	#REF!	#REF!	#REF!		614	#REF!	#REF!	

(注1) トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
(注2) 上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。